

平成30年度9月補正予算案（追加）の概要

1. 予算編成の基本的な考え方

平成30年7月及び9月豪雨等による災害からの復旧・復興に向けて、対応が必要な災害等廃棄物処理事業費、墓地災害復旧事業補助金、現年発生公共土木施設災害復旧事業費、現年発生社会教育施設災害復旧事業費を追加提案するもの。

2. 補正予算の規模

補正を行う会計 一般会計

補正額 167,569千円（補正後の額18,061,688千円）

財源内訳 国庫支出金：96,813千円

市 債：79,800千円

一般財源（財政調整基金）：△9,044千円

※市債との財源振替による

3. 【議第75号】一般会計補正予算（第4号）の主な内容（カッコ内：財源内訳）

○災害等廃棄物処理事業費 35,260千円

（国庫支出金17,630千円 市債44,400千円 一般財源△26,770千円）

7月豪雨により、半壊となった被災住宅の解体等に要する経費を追加計上するもの

※全壊住宅（4件）の解体、運搬、処分及び、半壊住宅（2件）の運搬、処分
経費は7月専決補正予算で計上済

（内 容）

半壊5件の解体及び3件の廃材等運搬・処分に要する経費等

○墓地災害復旧事業補助金 2,842千円（一般財源2,842千円）

7月豪雨により被災した墓地の復旧に要する経費の一部を支援するもの

（内 容）

対 象：自治会、墓地管理組合等5世帯以上で管理する墓地 4団体

対象経費：墓地の復旧に要する経費（600千円以上の復旧事業であること）

補助率等：1/3（上限1,500千円）

○現年発生公共土木施設災害復旧事業費 47,600千円

(国庫支出金 21,877千円 市債 10,900千円 一般財源 14,823千円)

7月豪雨により被災した公園及び9月豪雨により被災した市道の復旧に要する経費を計上するもの

(内 容)

公 園： 1,800千円 (紫水ヶ丘公園1件 法面復旧工事)

市 道：45,800千円 (市道3件 測量・設計、法面復旧工事)

○現年発生社会教育施設災害復旧事業費 81,867千円

(国庫支出金 57,306千円 市債 24,500千円 一般財源 61千円)

7月豪雨等により被災した国指定文化財である私市円山古墳の復旧に要する経費を計上するもの

(内 容)

私市円山古墳公園：測量・設計、法面復旧工事等